

【解説】

この回では、自分たちもその一員である「人間」についてさえ異なる見方があり、しかもそのどちらもそれなりに正しい見方であることを理解させたい。

生徒たちは、両方を見比べたときに「多面的存在」としての人間理解に多くの共感を感じるだろうと思われる。その素朴な感情を否定しないことがまず肝要である。

そのうえで、あえて「理性的存在」として人間をみる見方には、現実の人間が必ずしも理性的でないからこそ見落としてしまいがちな「理想を積極的に見出し議論する原動力」が含まれていることを感じさせたい。

○カッシーラー

ダジャレ「カッシーラーって誰かしら？」

○大学は遊びに起源をもち

大学生は遊んで良いという意味ではない。ダジャレ「豪快な誤解」は禁物。

○パスカル

気圧の単位（ヘクトパスカル）に名前が残っている。

○葺

すだれ・よしず・かやぶき屋根に使う植物

○意義と限界

長所と短所、メリットとデメリット。

思想史の学習のうえでは「意義と限界」という表現がよく使われる。